

まなびずし

Vol.11
2013.3

「まなびずし」・・・すべての人と人がやさしい、あたたかいまなびずし
で互いを見つめ、認め合い、誰もが視線を同じにして、相手を思い
やる平等な社会にむけて。



・・・講演&ピアノ弾き語り・・・ 講師 たてき さえ 立木早絵さん (関連記事 P5)

【もくじ】	P2～P3	素敵な人み一つけた！ みよし きらっと☆インタビュー
	P4	町長にお聞きしました
	P5	共に生きる女と男のセミナー・ヒューマンフェスタ2013
	P6	日本女性会議2012仙台
	P7	推進会議活動状況
	P8	女性相談案内

★ 素敵なお人
みつけた!

みよし きらっと★インタビュー

人生をどう楽しく過ごすか?

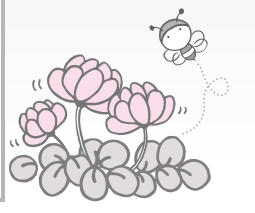


久武 直博さん
(北永井在住)

80歳になってもブログを更新し続け語り部として活躍している中谷さん。
長年歌うことの楽しさを、子どもだけでなく、幅広い年代に指導し続けている久武先生。
お二人にお話を聞きました。



中谷 久子さん
(竹間沢在住)



☆教員生活の中で男女共同参画の変化は…

小学校は、女性の教員が多く、職場では男女同等です。産休・育休も整備されて、女性の働く環境に合っていると思います。教育面では、生徒の出席簿は男女一緒にアイウエオ順に、また卒業証書を読み上げる時も「〇〇君」「〇〇さん」と称号を付けて個を大切にしています。昔も今も子どもは変わらないですが、周りの環境や親が変わります。大人が“何を大切にしていくなのか”基本的なことを確認することが大切ですね。

☆コーラス指導を始めたきっかけは…

学年ごとのお別れ会で親の出し物として合唱があり、それが「コーラス」の出発点となりました。三芳小学校・唐沢小学校のお母さんのグループが現在の「アマリリス」で38年続いています。またサークル活動として、「高齢大学」では30年。もう一つコピスみよしの“こけら落とし”を記念して発足した、「童謡の会 コール・コピス」は10年目です。長く続けてこられたのは、趣味を持つ生き方はとても素敵だし、何より自分自身が好きだからです。

☆コーラス指導にあたって、指導方法や皆さんと交流を繋ぐポイントは…

「声」が楽器なので、“楽しい”ことが一番です。伴奏の方や、時にはボイストレーニングの方に来て頂いています。一人で70~80人の方と交流しますから、一人で頑張らなくてもよいし、皆さんとの一体感、連帯感が生まれます。そして発表が終わった時の充実感は最高で、そこからまたさらに向上を目指す。ゴールのない挑戦です。

☆学校生活やコーラス活動の中で感動したことは…

どんなことでも上手くいった時には満足を得ますね。音楽会、発表会、感動は自分のものなので頑張ったことに自己満足がある。感動は同じだけど、大人は表情で表し、子どもは態度で表します。個人的には担任を持って一年間教育活動の目標を達成して子どもと親を送った時、それは、一番の感動の舞台「卒業式」です。

☆三芳町は…

都心に出やすいし、緑が多くて景色がいいですね。お奨めのスポットは多福寺・竹間沢こぶしの里(蛭)・三芳ICなどでしょうか。三芳に住んで39年になります。赴任当初は上富の教員住宅で、真っ暗でお店もなかったんです。今は団地に住み、団地の理事長や地域の役員も順番で担当しました。退職したら、ボランティア活動などで少しでも町に貢献したいと思います。住んだことへの恩返しをしたいと…。

☆これからの希望・目標とメッセージを…

3月に退職した後は、空いた時間は今携わっている3団体のコーラスと自分が所属している東松山のコーラスに使いたい。趣味は旅行。温泉が好きです。目標は、オーケストラを伴奏にコーラスをやりたいですね。今まで仕事があることが自分を支える気力になっていたため、これからも人との関わりを大切にさらに日々成長したいです。人に恵まれてきましたから、誠実に何かの手助けができることが嬉しいですね。



☆女性の社会進出の変化で感じることは…

戦後、家庭の事情から女学校を中退し、働かなければなりません。15歳の時、学生に混じって、ノートや学用品を売っていた時は男性も女性も関係ありませんでした。バスガール時代は、男女が平等ではありませんでした。その後、ビルクリーニングをしていた時、ひとつの仕事を極める事の大切さを思いました。

☆ブログを通じての絆…

勉強がしたくて70歳の時、通信教育で中学校に入りました。壊れかけのパソコンを譲り受け、ブログ仲間から教えてもらいながら覚え、そして自分のルーツ、戦争のこと等を書き留めたいと思い立ちました。毎日2時間くらいパソコンに向かい、200人くらいがブログを読んでくださっていると思うととても励みになります。ブログで知り合った友人も多く、先日は郡山に出向き戦争の時の体験談等を語ってきました。

707URL
<http://hisakobaab.exblog.jp/>

☆語り部を始めたのは…

以前から話すことは好きで、目の見えないハンセン病の方に、新聞や近況をテープに起こして送っていた事や、三芳に引っ越してきて「引っ越しつつ」にならないように何かをしたいと思った時、図書館で「かにかにこそそそ」の語り部の会があることを知り、即入会。民話を読み込んで、自分の言葉で話します。小学校で語ると子どもたちは一生懸命聞いてくれます。

☆三芳町は…

三芳町に来て6年たちました。緑が多く8階からの見晴らしがとっても良かったので決めました。地図が好きで、広報紙等で情報を得ると、そこまでは何キロあるのか、この距離だと歩けるのか判断します。以前は、上富のお祭り・北永井のお祭りもカメラを持ち出かけていました。出かけることも好きなので、地図をたよりにどこへでも行きたいが、現在は足が痛くて思うようにいかない。それでも町内の祭事等細かな情報をもっと知りたいと思っています。

☆みんなに伝えたいメッセージは…

- 何かに打ち込んでいる人は輝いています。
- 仕事は、選り好みしなければいくらでもあると思います。
- 就職先が見つからなければ自分でやってみる事です。
- 底辺を這いずってでも、生きて行きましょう。

***** インタビュアーの感想 *****

気さくでどこでも声をかけられる久武先生。「ストレスはあまり感じないほうですから、“楽しく”を心がけてきました」と永年コーラス指導に携わられた心情を笑顔で語られました。これからも健康で、いつまでも三芳町に男性・女性の素敵な歌声をつなげ、広げていただきたいと思いました。
(インタビュアー 山崎・志村・富澤)

***** インタビュアーの感想 *****

何事にも前向きで、何にでも興味をもって沢山のひとと接し、会話することが元気でいられる源かもと笑顔を見て思いました。そして、自分の身体と向き合い、無理せず生きることの素晴らしさを感じました。
人生経験豊富な方だから語れることと実感しました。
(インタビュアー 神奈川・齊藤・濱砂)

共に生きる女と男のセミナー

平成24年10月20日
藤久保公民館

講談の名調子に乗った男女共同参画 ワーク・ライフ・バランス

～女性が変わる 男性も変わる 社会が変わる～

講師に、宝井琴桜さんが登場、講談で語るワーク・ライフ・バランスを熱演、このおもしろい演題をわかりやすく日常生活に近づけ笑わせながら会場を魅了していきました。



宝井 琴桜さん

性別だけで、役割を決めつけないこと…家事は女性、介護は女性というふうには。

“ばっかり”というのはよくない。家事ばかりする。仕事ばかりするというのは過去の話。人生90歳まで生きる今の時代、バランスを取って、仕事も家事もする。仕事は男性だけがするものではない。家事は夫がするものでもなく、妻がするものでもない、子どもがするものでもない。家事はみんながするもの。と…

釈台をぼんぼんと叩きながらユーモアを交えて繰り出す歯切れの良い明快な声に、会場内を引き込むのでした。男だけの講談の世界に初めて真打として登場した、実力派、琴桜師匠の面目躍如、その名調子に、会場は誰一人として退場する方もなく、学びながら講談の名調子を堪能したのでした。そして明日からの生活に多くの示唆を得ました。ご来場の皆様沢山のアンケート有難うございました。(高橋)

琴桜さんの
流暢な話芸と歯切れのよい
講談のなかに、
男女共同参画を解かり易く、
楽しく聞くことができた…と、
来場者の笑顔が
たくさんありました。

(40代男性)

★男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについて、とても解かり易くそして楽しく講談して頂き、とても良いセミナーだった。講談は、初めて聞いたが今後又機会があれば、女流講談師である宝井さんの講談を聞いてみたいと思いました。

(70代女性)

★男女共同参画は、たまに新聞に出ていますが深く考えた事がなかったが、初めて参加し宝井琴桜さんのお話を解かり易く、楽しく聞けた。心を大きく、肩の力をぬいて気持ちを持つ、今日は本当に良いお話でした。ありがとうございました。

セミナーアンケートより…

ヒーローフェスタ2013

平成25年1月26日
文化会館コビスみよし

さらなる一歩を踏み出そう！ 思わず、かわいいと声もれてしまった！

★★ 講演&ピアノ弾き語り★★



立木 早絵さん

24時間テレビでの様々な過酷なチャレンジをした立木早絵さんですが、小柄で可憐な少女でした。彼女は、「誰にも苦手なことがあるように、私は見るのが苦手な普通の20歳の女の子です」と語り、ご両親は早絵さんをお兄さんと同じように育てられ、自転車の練習などもやらせてもらえたと言います。

また、彼女は、目に見えない心のバリアフリーが大切だと訴えていました。まわりを思いやる、自然体で助け合う人が増えますようにと。

今後の目標は、音楽活動することと語り、オリジナル曲の「自分を愛して」「夢に向かって」「感謝」などの曲を弾き語り披露してくれました。

本も出版し、さらなる一歩を踏み出した立木早絵さんの素敵なお話と歌声が心に響きました。(鈴木)

★ 一人ひとりが輝いて温かい「まなざし」を持てる三芳町に ★

町長へのインタビュー



…就任2年目を迎えられた町長に、男女共同参画の視点からみた取り組みについて伺いました…

女性の登用は…

町には、様々な審議会・委員会などありますが、女性の参加・参画について、意識をもって女性の登用を進めていますか。

- 現在、23審議会の内18審議会、6委員会の内1委員会で女性委員があり、全体の割合としては約24%と年々増加はしているが女性委員がない審議会等もあるため、多様性に富んだ人材確保が必要とされています。
- 平成23年度発足した、政策研究所(みよし塾)については、3グループ構成で一般公募により町民の方及び女性職員もメンバーになり研究を重ねています。
- 職員の女性比率については、約35%になるが、直近3年間の新入職員については女性が約60%と高くなっています。管理職においても、今年度一般行政職に女性課長を配属し期待をしています。

災害時避難支援は…

高齢者の一人暮らしが増加している中で、災害時の地域の支え合いに備えて、町ではどのような取り組みを行っていますか。

- 「三芳町災害時要援護者避難支援プラン」を作成し、現在「災害時要援護者名簿登録」の申請受付をしています。従来、民生委員が行っていた「見守り台帳」は、このプランに統一化されます。この制度は、希望した方の情報を支援機関となる地域の方たちが共有するものです。対象となる方は、高齢者・障がい者等自力で避難することが困難な在宅の方です。
- 緊急事態を想定し、町独自の防災対策を立て町民が安全な方法で避難できるように避難所訓練計画等を考えています。また、災害時には近隣の方の協力が一番重要だが、町内の事業所・病院等の協力も必要になると考えており、今後の課題です。

(注) 藤久保小学校エリア避難訓練を24.10.27に実施しました。

子育て支援は…

保育所待機児童が多く、早急な対応が必要だと思っています。現在の状況はどのようになっていますか。

- 23年度入所時の待機児童は、民間保育所が開設されたことにより待機児童は減少したが、24年度は第1保育所の老朽化に伴い新規募集を行わず、待機児童が増えた事が原因のひとつです。25年度4月にあらたに民間保育所が開設されますが、今後も引き続き待機児童の解消に努めていきたい。
- 家庭保育室保育料の助成の拡大・子育て支援センター一時保育の時間延長・民間保育所一時保育の拡大等を行っている。結果として家庭保育室・子育て支援センターの利用増に表れています。
- 24・25年度にかけて、家庭保育室・民間保育所の開設予定に伴い、待機児童の解消・子育て支援等に大きく貢献できると考えられます。

* お話を聞いて…

もっともっと子育てをしたい町に、そしてみんなが住みよいといえる町をめざしていると感じました。また、いろいろな場面で女性の意見を取り入れてもらえるように、そして私たちも意見を言うように普段から心がけていくことが大切なことと思いました。その後、町長と一緒に、役場1階エントランスホールで行われているパネル展を見学しました。



男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

平成24年6月22日
メルパルクホール東京

～ 男女共同参画による日本再生 ～

今年度の「男女共同参画週間」のキャッチフレーズは『あなたがいる わたしがいる 未来がある』。この大会には、推進委員4名・職員1名で参加しました。

内閣府からの報告(岡島敦子局長)で、震災から1年3ヶ月、避難所で生活する人達はガレキ処理で働く男性は有料なのに、炊き出しの女性は無料で働く、何か複雑な思いで聞きました。

基調講演は、「男女共同参画は日本の希望」と題して山田昌弘氏。日本における政治、経済分野での女性の進出は大変遅れている。因みに、フィリピンでは女性役員の割合が60%を占めると言う。

第2部パネルディスカッションは、「女性の活躍による震災復興と経済活性化について」。釜石市の旅館経営者、岩崎昭子さんは、震災当時、地域住民に呼び掛け、先陣をきって避難誘導を行った。宿の再建のみならず地域の復興に向けた取り組みを行い、平成24年1月5日より旅館営業開始。四大卒の学生が就職してきたこともあり、厚生年金制度や終身雇用の旅館を目指すと言いました。

松江市の老舗塗装店常務取締役、古志野純子さんは、若手従業員の早期退職が止まらず従業員不足。育児や介護休暇(30分単位の有給休暇)等を取り入れ、先輩社員からの卓越した技術伝承の仕組みも創った結果、若手社員が定着。技能士が倍増し、過去5年間の退職者がゼロという企業に成長した。まさにワークライフバランスの確立と言えよう。

次の世代への問いに「コンクリートの町づくりより人による町づくりを」と岩崎さん。「とにかく良く話し合う事が大切」と古志野さん。女性のしなやかさ、そしてパワフル。心に残るお二人でした。

(濱砂)



ある日の
男女共同参画推進会議で

A 男女共同参画社会ってどんな社会なの？ わかりにくいね。

B この間の宝井琴桜さんの講演で夫が仕事に行き詰って、会社を辞め、妻が交代して働きに出る話があったけど、アレが男女共同社会って事なの？

C 男と女が交代するのが男女共同参画って言うわけではないけど、性別で役割を決め付けるのはよくないわよね。

D 東日本大震災の復興対策で、先頭に立って指揮するのが男性中心であったために、子ども、高齢者、障がい者やそして女性たちの必要

としているものが伝わらず苦労したという話を全国女性会議でたくさん聞いてきたわよね。

C 私の出た分科会でも、自治体の担当者が災害対策で「今は子どものことどころではない」と話していたということを書いていたわ。

A それって変よね。支援は弱いところほど手厚くされるべきだと思うのに、後回しにされるのはその切実さが通じてないからではないのかしら。

B 昨年の「まなざし」は「平時に出来ないことは災害時にもできない」というテーマで作成したけど、町の災害対策が女性や弱者の視点も取り入れられているかが大事だと思うよ。

C そうだね。三芳町役場の管理職が男性だけとはいわないけれど、福祉関係は女性が多く、財政や土木などは男性という偏りはあるような気がする。

E 例えば、女性は男性に比べて背の低い人は多いし、荷物もたくさん持っていることが多いのに、公共施設のトイレの荷物かけは背伸びしてやっと届くようなところにあたり、荷物の置く場所に困ったりすることがあるでしょ。これなんかも設計の段階で女性の意見を取り入れていなかったのかも。逆に男性がどう考えているかわからないこともある。

D 男女共同参画って言うのは、一方的に物事を進めるのではなく、いろいろな立場の人の意見を大事にしながら進めることなのね。

E 役場で行っている様々な事業が様々な人に配慮した内容になってるが、声の大きい人たちのみで進められていないが、チェックしていくことも大切と思うよ。

F 2年ごとに町長に提出している「提言書」にそれらを盛り込むことも必要だし、セミナーや情報誌「まなざし」だけでなく、いろいろな機会をとらえて広報していくことも考える必要があると思うの。



日本女性会議2012仙台

平成24年10月26日・27日

…きめる うごく 東北から…

『共に前へ』

二日間にわたる会議の中では、震災がもたらした限界を超える苦悩と困難から、一人一人がまた生きる力を育てられ、大きな復興へと希望をつないで前進されている力強い報告があふれていました。

被災地の皆さんはどのような生活を、また、どうやって心の傷を埋めているのか、想像もつきませんでした。被災された人たちの困難を支えたのは女性であったこと。女性には困難を希望に変える力強いパワーがあること。避難所や仮設住宅では前を向いて、みんなの持っているアイデアからエゴたわしなどを作成し、寄り添って日々生き抜いていること。そして特に災害時における男女共同参画の社会への必要性が浮き彫りにされました。全国からの参加者は2千人。奥山恵美子仙台市長をはじめ、登壇者、スタッフ、大勢のボランティアの明るい笑顔が「共に前へ」と呼びかけました。「女性の連帯で変革を推進していこう！」という力強いメッセージを受け止めてきました。(山崎)

特別プログラム (10/26 1日目)

「女性たちが語る3.11 ～これまでと今と～」

水野実行委員長は「あの日、3.11を境に私たちの日常は大きく変わった。多くのものが失われ、既存の枠組みは崩れた。そして極限状態の中、普段隠れているたくさんのことが浮き彫りになってきた」と挨拶された。その極限状態とはどんなものであったか、5人のパネリストの体験は生々しく、会場全体がシーンと静まりかえっていた。地震と津波に遭遇した中で助け合って日々を過ごした南三陸ホテルの女将、震災翌日に発行された河北新報を見て初めてその実態を知った住民の驚き、被災地で子どもの死に直面した女性記者の戸惑い、地震と追い討ちをかけた放射能汚染の中、女子大生をどう守るか奔走した女子大の先生、阪神・淡路大震災で被災し、以後支援活動を続けている女性、子ども支援プラザでは情報・交通がストップした中、自己判断で出来るところからやり始めることが、復興の第1歩と話す館長。意思決定の場に女性の視点は欠かせない。今後の課題として、復興の遅れに苦しみ、風評被害にも悩まされ、多くの企業が廃業に追い込まれている現状。継続的な支援が必要ということが実感として感じられた。(横山)

2013日本女性会議は、
いきいき わくわく
小さなまちから新たなステージ！
をテーマに四国徳島県阿南市で
開催されます。

シンポジウム (10/27 2日目)

「たまり場でのおしゃべりから…」

北海道・釧路の地域づくりは、たまり場から。パネリストの日置真世さんが言うたまり場とは、どんなことでも、ひとりで抱え込まずに発信し、協力や助け合いを求めたり、連携することが重要と語る。彼女は、学生結婚をし出産した。長女が重度の障害を持っていたため一度も社会に出ることがありませんでした。にもかかわらず、障がい者支援、介護支援、若者の就労支援、子育てカフェなどネットワークを拡大し、地域活動の幅を広げ現在、事業拠点250数箇所、職員170名以上に成長させたと言う、発表が心に残りました。(鈴木)



「特別プログラム」

別冊で女性会議報告を作成しました。役場・公民館窓口にありますので、是非お読みください。

…分科会紹介…

- 第1分科会 復興・防災に女性の声を ～出す、ひろう、生かす
- 第2分科会 「困難すごろく」でみる女子の生きづらさ
- 第3分科会 役に立つ「人権」の話
- 第4分科会 東日本大震災・原発事故と母子支援
～妊産婦と赤ちゃんをどう守れるか
- 第5分科会 企業でキャリアを確立ということ
～わたしたちのネクストビジョン
- 第6分科会 支援から交わりへ ～「外国人職」が地域住民になる日

わたらしいわたし…であるために

ご利用ください!

みよしまち女性相談

●女性の視点に立った悩み・困りごと相談

- 日 時：毎月第2・4金曜日／午前11時～午後3時30分(予約制)
- 場 所：役場1階 住民相談室
- 相談員：専門の心理カウンセラー(女性)
- 相談料：無料
- 申込み：総務課 人権推進係 TEL.049-258-0019(内線404・405)

※電話または面談での相談ができます。秘密は固く守ります。
相談員は、女性ですので安心してご相談ください。

平成24年 女性相談状況報告

68件の相談があり、主な内容は夫婦のこと(13件)・家族のこと(13件)・心身の不安(19件)などが多く、暴力・人間関係等がありました。

DV等に関する相談窓口

●夫や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為を、一般的にドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。DVは犯罪にもなる許されない行為です。《緊急の場合は迷わず110番!》

実施機関・相談の名称	受付日	受付時間	電話番号
埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県婦人相談センター DV相談担当)	月～土 日・祝	9:30～20:30 9:30～17:00 (年未年始を除く)	048-863-6060
With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)	月～土	10:00～20:30 (祝日・年未年始・第3木曜日を除く)	048-600-3800
警察安全相談 (東入間警察署 生活安全課)	月～金	9:00～17:00 (祝日・年未年始を除く)	049-269-0110
埼玉県警察犯罪被害者相談センター	月～金	8:30～17:15 (祝祭日を除く)	0120-381858

…☆ 編集後記 …

☆自分らしく生きられる三芳町であるためには、よりよい社会をこれからの十年後を目ざして作らなければと考えています。(志村)

☆男女共同参画、世界の中であまりにも低い日本…三芳町。1ミリつつでもよくしていきたい。(高橋)

☆男女平等の推進と男女共同参画社会の形成について学び、とても奥の深い会議に参加させて頂いていると思います。(富澤)

☆月一回の推進会議の内容について行くのが精一杯、毎回「勉強」と思って参加しています。(豊留)

☆新しい経験・勉強をさせて頂きました。今後も「男女に参画する地域づくり」に関わっていきたいと思います。(丸山)

☆推進委員の活動の中で“一人ひとりを大切に生きること”を一生懸命学んでいます。(山崎)

☆男女共同参画を学ぶ機会により、今まで気づかなかったことを意識するようになりました。(渡邊)

ご意見・ご感想をお待ちしています。

〒354-8555 三芳町大字藤久保1100番地1
三芳町役場 総務課 人権推進係
「まなざし・お便りコーナー」宛
FAX. 049-274-1055

E-mail:manazashi@town.saitama-miyoshi.lg.jp



●平成24・25年度 三芳町男女共同参画推進会議委員●

神奈川三樹江 齊藤富美江 志村美代子 鈴木美貴子
高橋昌子 富澤喜代美 豊留エチ子 濱砂豊子
丸山千恵子 山崎和美 横山八重子 渡邊好子

「まなざし」Vol.11 2013・3(年一回発行)

発行 三芳町 総務課 人権推進係 TEL.049-258-0019(内線404・405)

※この情報誌は男女共同参画推進会議が企画・編集しました。